

# 図書便り

今月の名言

「でたらめでもいいから、自分の考えを信じて、  
対決していけば世界は変わる」

伊坂幸太郎 『魔王』 講談社文庫

やってきた！！読書の秋！！！！

『東京近江寮食堂』

渡辺淳子

消えた夫を探しに、滋賀から東京へ旅に出る物語です。そのふるさとの宿の食堂を何日も何日も利用し、食べ物の大切さについて改めて考えるものです。

『地球の食卓 世界24か国の家族のごはん』

題名にもあるように、様々な国の家族の1週間分のごはんの食材を見ることができます。見たことがないような料理もあるのでそこも見どころです。

『異世界食堂』

犬塚淳平

「洋食のねこや」は普段は普通の食堂だが、定休日の土曜日、異世界と通じる扉が開かれ“特別な客”が訪れる!?読むと腹が減ること間違いなしのグルメ小説!!

『ゆきうさぎのお品書き 6時20分の肉じゃが』

小湊悠貴

小料理屋「ゆきうさぎ」を営む大樹とアルバイトの碧を中心としたほっこりする料理小説。肉じゃがや鍋、プリンなどどれもおいしいような料理が数多く出ています。

『ちょんまげぷりん』

荒木源

ひょんなことから現代にタイムスリップしてきてしまった侍の安兵衛。安兵衛は、シングルマザーであるひろ子と息子の友也と同居することになり、そこで江戸と東京の違いを知る。

『青空の卵』

坂木司

天才的な頭脳と料理の腕を持つ引きこもり、鳥井真一とお人好しな「僕」坂木司が身近に起きた謎を解決していきます。推理も料理も魅力的なシリーズです。

『ごはんの法則』

酒井順子

食べ物を通して、様々な人の行動や、作者自身の考えを面白くわかりやすく書いています。ゆったりと本を読みたい時におすすめです。

『バターサンドの夜』

河合二湖

息苦しい毎日を支えてくれるのは大好きなアニメのあのシーン。自分もいつか、あの子みたいな服を着て、自分を変えたい。そんな中学生・明音の自分探しの物語。

『ランチのアッコちゃん』

柚木麻子

主人公美智子の、パワフルでかっこいい上司のアッコさんが大活躍!!「食べること」の大切さを改めて実感します。あなたの食欲をそそるはず。